



令和6年9月号

東蒲小学校長 鈴木 裕二  
 巡回指導教員 山田 隆一  
 山崎 智里  
 廣木 璃星

長いようであつという間の夏休みが終わり、校内にはこどもたちの元気な声が響くようになりました。夏休み前から「おばあちゃんの家に行きたい。」「飛行機に乗りたい。」「たくさんゲームがしたい。」と夏休みを心待ちにした様子でした。こどもたちはそれぞれ普段学校では体験できない、様々なことを学ぶ有意義な時間を過ごしたことと思います。

サポートルームでは2学期も引き続き、こども一人一人の困り感や苦手感を受け止め、指導を継続していくとともに、こどもたちが自分たちの良さを見つけ自信を深めていけるように活動を共に行ってまいります。また、1学期中は保護者の方に紫ファイルを通し、お子さんの様子について情報交換をさせていただきありがとうございました。どうか引き続き2学期も連携を図らせていただきたくご協力をお願いします。2学期もサポートルーム学習参観や希望制の個人面談を予定しておりますので、よろしくお願い申し上げます。



### 2学期の予定

現段階での2学期の予定をお知らせします。

<2学期 指導期間>	<個人面談>
東蒲小学校 9/9(月)~12/18(水) 大森第三小学校 9/11(水)~12/18(水) 蒲田小学校 9/10(火)~12/18(水)	これから、1学期の振り返りの面談が予定されている保護者の方は、日程を確認の上、よろしくお願いいたします。 ※2学期の振り返りの面談は、12月中旬頃に希望者のみ行います。後日改めてお知らせをお配りします。
<p style="text-align: center;">&lt;授業参観&gt;</p> <p style="text-align: center;">お子さんの指導時間をご確認の上、ぜひご来校ください。            やむをえず、学年行事等が重なることがあります。            行事の予定が入っている場合は、できる限り事前にお知らせします。</p> <p style="text-align: center;">東蒲小学校 10/21(月)、23(火)            大森第三小学校 9/25(水)、26(木)、27(金)            蒲田小学校 11/26(火) 27(水)</p>	

※巡回指導教員がお子さんの学校以外の学校からご連絡をすることもあります。毎年のお願いですが、携帯電話等にはできるだけ下記の拠点校及び巡回校の電話番号の登録をお願いします。

東蒲小学校(拠点校) 03-3732-9635  
 蒲田小学校(巡回校) 03-3732-8317  
 大森第三小学校(巡回校) 03-3762-6628

## 1学期のグループ学習をふりかえって



サポートルームのグループ学習は、学級の授業の中で行う学習とは少し違ったことを行うことが多くあります。その中でも子どもたちが大好きな活動にゲーム活動があります。それぞれの活動の中には私たち教員が込めている思いがめあてという形で提示されています。1時間の中で子どもたちにどのような力を付けることができるのか、どのようにしたら達成感を感じることができるのかを考えながら計画を立てています。思ったように達成できる日もあれば、失敗してしまう日もありますが、失敗の中から子どもたちが気づきを生み出す機会もたくさんありました。今回は、1学期に扱った教材をご紹介します、活動中の子どもたちの様子をお伝えします。



『マウスマウス』というボードゲームです。このゲームは、みんながネズミになってネコの侵入を阻止するゲームです。3つのサイコロを振って出た目の数だけネズミのチップを置きます。チップを置いて一つの食べ物を完成させるとネコの動きを止めることができます。みんなで話し合い活動をしながらかつ互いの意見を聞きあえることをめあてに活動しました。ゲームの途中にサイコロを振り直すべきか、どの野菜にチップを置くべきかなど考える場面がたくさんあります。子どもたちは、「ここでいいですか。」と確認言葉を使いながらかつ互いの考えをたくさん伝えることができました。また、友達の考えを聞くことや譲ることを学んだ児童もたくさん見られました。

皆さんご存知の『風船バレー』です。サポートルームに通う子どもたちは風船が大好きです。個別の時間にも何度か取り組んだ児童が多かったのではないのでしょうか。運動場面を通して協力し合うことをめあてに活動をスタートしました。サポートではまず、力の加減を意識できるようトスを長く続ける練習からスタートしました。「どのようにしたら長くトスを続けられるかな。」と問いかけると「高く上げたほうがいい。」「小さなトスで速くしようか。」「声をかけよう。」など様々な意見が出ました。徐々に活動を広げ先生チームとの対戦も行いましたが、対戦相手に聞こえないようにひそひそ声で立ち位置やアタックを決めるタイミングなどを相談しました。子どもたちが最後まで風船を追いかける姿や、温かい言葉を掛け合って活動する姿、そして何よりも笑顔いっぱいに取り組む姿に教員一同も笑顔になりました。

最後は、誰もが1度はやったことのある『だるまさんがころんだ』です。簡単な遊びですが、「負けを受け入れる」「静と動を意識する」など様々なめあてのもとに取り組んでいます。どの子もピタッと止まることをよく意識できていて、表情まで固まっていました。サポートルームでは、通常のだるまさんがころんだに加えて、決められた輪っかしか通れないバージョンや玉を拾いながら進む『だるまさんがひろった』など様々なバリエーションで取り組みました。はじめのうちは手先まで意識して止めることが難しい児童もいましたが、少しずつ自分の体全体を意識できるようになりました。「アウト」を受け入れることが難しい場面で心に折り合いをつけたり、自分でクールダウンをして活動に再び参加したりと、子どもたちがそれぞれ自分の課題と向き合い取り組む姿が素晴らしかったです。